

平成30年度 初発の5大癌のUICC病期分類別ならびに再発患者数

						再発	病期分類 基準(※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃がん	235	41	29	88	9	302	1	8
大腸がん	80	129	113	86	13	406	2	8
乳がん	45	45	13	-	7	70	1	8
肺がん	18	-	-	3	2	11	1	8
肝がん	4	5	4	2	-	52	2	6

※ 1:UICC TNM分類, 2:癌取り扱い規約

<<解説>>

日本で現在最も罹患数の多い5つのがん(胃・大腸・乳・肺・肝)の病期(ステージ)ごとの症例数を集計しております。病期分類は、がんがどれくらい進行しているかを分類するもので、Stage 0からStage IVまであり、Stage IVが最も進行していることとなります。

なお、再発がんは症例数のみを別に集計しています。当院は、『北海道がん診療連携指定病院』として幅広いがんを積極的に行っております。消化器内科では、早期の胃癌・大腸に対する内視鏡治療、外科では腹腔鏡、胸腔鏡による治療を行っており、患者さんの身体的負担の少ない治療を積極的に行っております。また、腫瘍内科を主体とした最新の化学療法も行っております。緩和医療にも取り組んでおり、進行がん・再発がんの患者数も多くなっております。